

自然学習講座

テーマ：夏休み自由研究シリーズ（各テーマ1日2回実施）
 内容：令和2年8月13日（木）「虫とりキットをつくろう」
 【持ち物】ペットボトル、白い布、虫あみ
 令和2年8月20日（木）「土の中の生きもの調べ」
 【持ち物】スコップ
 時間：①午前9時30分 ②午後13時00分（各2時間、雨天決行）
 講師：水元かわせみの里スタッフ 定員：各回10人
 申込開始：令和2年6月15日（月） 参加費：無料
 集合：水元かわせみの里 水辺のふれあいルーム
 受付：令和2年7月5日（日）まで往復はがき（当日消印有効）で受付（抽選）

※対象は小学生。小学校3年生以下は保護者同伴。
 ※野外を歩きますので、動きやすい服装、運動靴でお越しください。

自由研究として、生きものの観察などを行い、楽しみながら水元公園の生物多様性について学びます。



イベント・ガイドウォーク

自由研究相談室 夏休み中の毎週火曜日
 午後2時から3時まで

昆虫や植物など、生きものの専門家のスタッフが、小中学生の夏休みの自由研究の進め方などをアドバイスします。会場は水元かわせみの里。



ガイドウォーク 1回目 11時から30分間
 2回目 13時30分から30分間

専門員が水元かわせみの里周辺を解説しながらご案内します。毎日行っていますが、講座開催時や、ボランティア活動日IP3参照は休みです。



水元かわせみの里とは（水元小合溜水質浄化センター）

水元小合溜の水辺環境を、豊かな生きものが生息していた昭和30年代前半の頃のように戻すために作られた、水質を浄化する施設です。施設内にある水辺のふれあいルームでは、専門員による解説や講座、様々な展示やイベントなどを通じて、周辺の自然や歴史、水質浄化の取り組みなどについて楽しく学ぶことができます。



- 開館時間・・・9時から17時30分（4月から10月）、9時から16時30分（11月から3月）
- 休館日・・・月曜（祝日の場合は、その直後の平日）、年末年始
- お問合せ・・・水元かわせみの里 03(3627)5201 東京都葛飾区水元公園8番3号

交通 京成バス	水元公園循環バス（3月から11月の土日祝のみ）	金町駅南口→戸ヶ崎操車場・八潮駅南口（金61系統）
バス停の場所は、5ページの地図をご覧ください。	金町駅南口→水元公園→金町駅南口	（金61系統）
	水元かわせみの里下車 徒歩1分	水元五丁目または大場川下車 徒歩5分

※お車で越しの際は、水元公園有料駐車場をご利用ください。

ホームページ：http://www.city.katsushika.lg.jp/institution/1000096/1006910.html

専門員によるブログ：http://mkawasemi.exblog.jp/

水辺のふれあいルーム通信（月刊）
 令和2年6月20日号（通算第159号）

水元かわせみの里

水辺のふれあいルーム通信

令和2年 6月20日

水元小合溜の生きもの：149

コシアキトンボ

トンボ目 トンボ科
 全長 40～50mm
 見られる時期 5～8月



♂オス

成熟したオスは腹の3～4節が白い

しろ き おび うつく
 白や黄の帯が美しい、
 こしあき とんぼ
腰空蜻蛉

黒い体の中間あたりに白や黄色の帯を巻いたような姿です。体の前と後ろがつながらずに空いているように見えることから、「腰空」の名がついています。帯が白いほうがオスで、黄色いのがメス、もしくは若いオスです。

はやし かこ いけ す
林に囲まれた池が好き

オスは「水辺のふれあいルーム」前の池で、水面の上を見回るようにスイスイ飛びます。ほかのオスと縄張りを争うこともあります。メスや若いオスは、ふれあいルーム隣の野草園の木立に囲まれた場所で、人の背丈より高いところをよく飛んでいます。

<実物大写真>



♀メス

メスは前と後ろの翅の先が黒い

メスや若いオスは腹の3～4節が黄色

発見!お散歩隊がゆく

日々変わりゆく小合溜の自然を、お散歩隊が見つけて紹介します!



6/5 アカボシゴマダラ 水元かわせみの里近くのクヌギの木で、樹液を吸っている姿がよく見られる。



6/5 ヘラオオバコ 水元公園の園路沿いに多く生えている。外側には、白くて長い雄しべが伸びている。



6/5 ムクドリ 虫を探してよく地上を歩く。暑さで上がった体温を逃がすため、常に口を開けていた。



6/3 シロシジゲナガハナバチ 水元小合溜沿いに咲くムラサキツメクサをめぐって吸蜜していた。



6/5 コウホネ 水元小合溜に咲くスイレンに紛れ、水中から茎を伸ばし、水上に黄色い花を咲かせる。



6/5 コブマルエンマコガネ 哺乳類の糞を主食とする糞虫の一種。林の中のタヌキの糞を食べていた。



6/5 クロイトトンボ 水元小合溜では交尾や産卵の様子がよく見られる。時々スイレンの葉で休憩していた。



6/3 ヒルガツキミソウ 水元公園の草地でよく見られる。ハチやアブなど、様々な昆虫が吸蜜に訪れる。



6/8 アリグモ アリそっくりなハエトリグモの一種。葉の上の他、柵の上や建物の壁などでよく見られる。

専門員コラム 「アリグモの擬態とアリの関係」のお話

水元かわせみの里の建物の壁や柵の上、植物の葉の上などを見ると、アリに擬態するアリグモ(写真⑨)というクモの仲間がよく見つかります。脚は8本、頭にも8つの単眼があり、ちゃんとクモの体の特徴を持っているのですが、見た目や動きは本当にアリそっくりです。ここまで擬態できるのなら、アリの目を欺いて群れに紛れ込み、アリを襲えるのではないかと私は思っていました。

ところが、いつ見てもアリグモは単独で行動し、アリに近づきすらしません。なぜなら、地中にすむアリは視力が弱く、触角で匂いを嗅ぐことで敵味方を判別するので、仮に群れに紛れようとしてもすぐにバレてしまうからです。それにアリはアゴの力も強く、大勢で襲い掛かってくるので、アリを狙うのは多くの虫にとっても簡単ではないのです。アリグモの擬態には、そんなアリを警戒する外敵から狙われにくくする効果があると考えられています。

生きものは外見だけでなく、他の生きものとの関わりまで考えると、よりその生きものを理解することができるのですね。(小林)



● 写真を撮った場所を地図上に示してありますが、他の場所でも見られます。皆さんもぜひ見つけてみましょう。

ボランティア活動報告

野草園の見直しと、ハーブ園の草刈りを行いました。

6月6日に、昨年度のボランティア活動の振り返りを兼ねて、野草園の環境整備の方針や、今年度に野草園で取り組みたいことについて話し合いました。また、ハーブ園や、水元かわせみの里内の通路に伸びた草を刈り、敷地内をより広く利用しやすいようにしました。

昨年度の活動について、皆で振り返りました。



野草園を歩きながら、現状を確認しました。



野草園の現状について意見を申し合いました。



ハーブ園内や、通路に伸びた草を刈りました。



ボランティア募集

水元かわせみの里ボランティアは、活動を通して、ボランティアの方々が地域への愛着を育み、ひいては地域の発展へ貢献することを目標とします。地域の自然保護活動や、来館者へのクラフト教室など、やりがいをもって参加していただける活動がたくさんありますので、気軽にご参加いただきたいと思います。

■活動内容 水元かわせみの里周辺の美化活動や、水辺のふれあいルームの管理等補助作業
ガイドウォーク等の補助作業、ボランティア研修会の受講
葛飾区子どもまつり、環境・緑化フェアなどへの参加

■募集期間 随時募集しています

■対象 18歳以上の方(原則)

■活動日 月4回程度(定例活動日 第一、三土曜日、第二、四木曜日)

■申し込み・お問い合わせ 水元かわせみの里 03(3627)5201

3

学校等団体利用のご案内

水元かわせみの里には、水元小合溜の歴史や自然の解説を行う専門員がいます。総合的な学習の時間、理科、社会科、生活科などの学習にぜひご利用ください。

総合的な学習の時間



植物の葉っぱと土の観察

水元小合溜周辺の身近な生きものや、環境、歴史について楽しく学びます。水質浄化センターの見学なども可能です。

職場体験受け入れ



中学生職場体験

施設周辺の美化活動、施設内の管理作業、生物の調査、ガイドウォークの補助など、様々な体験が可能です。

自由研究の補助



虫とりキットを作る

水辺の生きもの調査、図鑑作りなど、様々な内容の自由研究のイベントを行い、夏休みの児童への、学習のサポートをします。

その他、主な団体利用の内容

- ・生物関係のクラブ活動の補助
- ・大学・専門学校の実習の受け入れ
- ・福祉系団体への自然解説
- ・歩こう会など、各種団体への自然解説

※バスでの来館のご希望や、ガイドの時間・内容などの詳細については、ご相談ください。

※団体利用に関するお問い合わせは、水元かわせみの里窓口、または電話(水元かわせみの里 03-3627-5201)まで。

カワセミのふしぎ その3

水元かわせみの里のシンボルになっているカワセミ。その体や生態に宿るふしぎ、あなたはいくつ知っていますか？



どうやって土壁に 巣穴を掘るの？

カワセミは、くちばしと足を使って巣穴を作ります。くちばしは、壁を掘るツルハシの役目をはたします。短くて小さな足は、じつは3本の足指が付け根のところにくっついており、シャベルのように土を掻きだすのに適しています。

4